

# 日本興業銀行の業績と財務の状況

## CHAPTER 1

### 目次

|   |    |
|---|----|
| 直近の5連結会計年度における<br>主要な業務の状況を示す指標 .....               | 14 |
| 直近の5営業年度における<br>主要な業務の状況を示す指標(単体).....              | 15 |
| 金融経済環境 .....  | 16 |
| 内外経済情勢  |    |
| 金融情勢  |    |
| 日本興業銀行の平成12年度決算の状況.....                             | 17 |
| 連結決算の状況   |    |
| 単体決算の状況   |    |
| 資産内容の開示について .....                                   | 27 |
| 自己査定と償却・引当  |    |
| リスク管理債権   |    |
| 金融再生法開示債権   |    |
| 開示債権と引当・保全の状況                                       |    |
| リスク管理債権の状況  |    |
| 金融再生法開示債権の状況  |    |
| 業種別リスク管理債権・業種別金融再生法開示区分に準じた不良債権等<br>不良債権のオフバランス化の実績 |    |

財務編の記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中の合計欄・増減欄等の数値が、必ずしも数値の合計・差額等と一致しないことがあります。  
決算期については、表示を「年度」にて統一しています。

# Financial Analysis

## 日本興業銀行の業績と財務の状況

### 直近の5連結会計年度における主要な業務の状況を示す指標

(単位:億円)

| 科目  | 平成8年度   | 平成9年度   | 平成10年度  | 平成11年度  | 平成12年度  |
|---|---------|---------|---------|---------|---------|
| 連結経常収益                                      | 34,025  | 33,042  | 33,785  | 29,839  | 14,142  |
| 連結経常利益(は連結経常損失)                             | 467     | 3,291   | 2,633   | 1,555   | 1,402   |
| 連結当期純利益(は連結当期純損失)                           | 127     | 2,026   | 1,812   | 707     | 584     |
| 連結純資産額                                      | 15,439  | 13,200  | 15,613  | 16,274  | 15,964  |
| 連結総資産額                                      | 469,669 | 492,297 | 461,664 | 424,664 | 447,751 |
| 債券残高  | 221,375 | 208,409 | 204,618 | 204,712 | 189,899 |
| 預金残高(含む譲渡性預金)                               | 108,713 | 100,535 | 81,163  | 66,365  | 87,828  |
| 貸出金残高                                       | 255,184 | 240,014 | 233,279 | 227,796 | 230,817 |
| 有価証券残高                                      | 68,080  | 88,472  | 89,421  | 75,807  | 95,707  |
| 連結ベースの1株当たり純資産額(注1)                         | 607.96円 | 519.77円 | 458.91円 | 483.94円 | 472.21円 |
| 連結ベースの1株当たり当期純利益<br>(は連結ベースの1株当たり当期純損失)(注2) | 5.24円   | 79.80円  | 70.64円  | 25.59円  | 20.34円  |
| 連結ベースの潜在株式調整後<br>1株当たり当期純利益                 | 円       | 円       | 円       | 23.15円  | 18.59円  |
| 連結自己資本比率(国際統一基準)                            | 9.04%   | 10.26%  | 11.34%  | 12.19%  | 11.61%  |
| 連結自己資本利益率                                   | /       | /       | /       | 5.42%   | 4.29%   |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー                            | /       | /       | /       | 12,441  | 11,167  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー                            | /       | /       | /       | 12,388  | 10,851  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー                            | /       | /       | /       | 151     | 1,049   |
| 現金及び現金同等物の期末残高                              | /       | /       | 2,902   | 2,970   | 2,240   |

注)1. 連結ベースの1株当たり純資産額は、連結会計年度末連結純資産額から「期末発行済優先株式数×発行価額」を控除した金額を、期末発行済普通株式数(自己株式を除く)で除して算出しています。

2. 連結ベースの1株当たり当期純利益(または当期純損失)は、連結当期純利益(または連結当期純損失)から当期優先株式配当金総額を控除した金額を、期中平均発行済普通株式数(自己株式を除く)で除して算出しています。

## 直近の5営業年度における主要な業務の状況を示す指標(単体)

(単位:億円)

| 科目                              | 平成8年度                | 平成9年度                | 平成10年度  | 平成11年度  | 平成12年度  |
|---------------------------------|----------------------|----------------------|---|---|---|
| 経常収益                            | 31,402               | 30,355               | 30,187  | 27,206  | 12,588  |
| 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)                | 2,258                | 2,447                | 2,786   | 1,741   | 1,858   |
| 業務純益                            | 2,046                | 2,306                | 2,120   | 2,213   | 1,923   |
| 経常利益(は経常損失)                     | 436                  | 3,577                | 3,519   | 1,388   | 1,212   |
| 当期純利益(は当期純損失)                   | 411                  | 3,419                | 1,957   | 602   | 619   |
| 資本金<br>(発行済株式総数 千株)             | 4,651<br>(2,539,579) | 4,651<br>(2,539,579) | 6,736<br>(普通株式 2,639,579<br>第一回優先株式 140,000<br>第二回優先株式 140,000) | 6,736<br>(普通株式 2,639,579<br>第一回優先株式 140,000<br>第二回優先株式 140,000) | 6,736<br>(普通株式 2,639,579<br>第一回優先株式 140,000<br>第二回優先株式 140,000) |
| 純資産額                            | 14,305               | 10,669               | 16,239  | 16,674  | 16,954  |
| 総資産額                            | 434,500              | 451,408              | 420,893   | 380,506   | 437,156   |
| 債券残高                            | 215,596              | 202,397              | 198,668   | 199,338   | 183,958   |
| 預金残高(含む譲渡性預金)                   | 107,162              | 101,399              | 81,750  | 62,994  | 83,089  |
| 貸出金残高                           | 247,135              | 232,415              | 228,720   | 222,324   | 224,800   |
| 有価証券残高                          | 68,276               | 86,996               | 90,245  | 77,038  | 96,324  |
| 1株当たり純資産額(注1)                   | 563.28円              | 420.12円              | 482.63円   | 499.10円   | 509.71円   |
| 1株当たり配当額<br>(うち1株当たり中間配当額)(注2)  | 8.50円<br>(4.25円)     | 8.50円<br>(4.25円)     | 普通株式 7.00円<br>第一回優先株式 0.05円<br>第二回優先株式 0.02円                    | 普通株式 7.00円<br>第一回優先株式 17.50円<br>第二回優先株式 5.38円                   | 普通株式 16.3円<br>第一回優先株式 26.25円<br>第二回優先株式 8.7円                    |
| 1株当たり当期純利益(注3)<br>(は1株当たり当期純損失) | 16.94円               | 134.65円              | 76.27円  | 21.61円  | 21.64円  |
| 潜在株式調整後<br>1株当たり当期純利益           | 円                    | 円                    | 円   | 19.59円  | 19.75円  |
| 単体自己資本比率(国際統一基準)                | / %                  | / %                  | 11.57%  | 12.42%  | 12.07%  |
| 自己資本利益率                         | / %                  | / %                  | 16.7%   | 4.4%  | 4.3%  |
| 配当性向                            | 50.48%               | %                    | %   | 32.39%  | 75.31%  |
| 従業員数(注4)                        | 5,175人               | 4,971人               | 4,752人  | 4,524人  | 4,414人  |

- 注) 1. 1株当たり純資産額は、期末純資産額から「期末発行済優先株式数×発行価額」を控除した金額を、期末発行済普通株式数で除して算出しています。  
 2. 平成8年度から平成9年度は普通株式のみです。  
 3. 1株当たり当期純利益(または当期純損失)は、当期純利益(または当期純損失)から当期優先株式配当金総額を控除した金額を、期中平均発行済普通株式数で除して算出しています。  
 4. 従業員数には嘱託、臨時雇員及び海外の現地採用者は含んでいません。

### 金融経済環境

#### 内外経済情勢

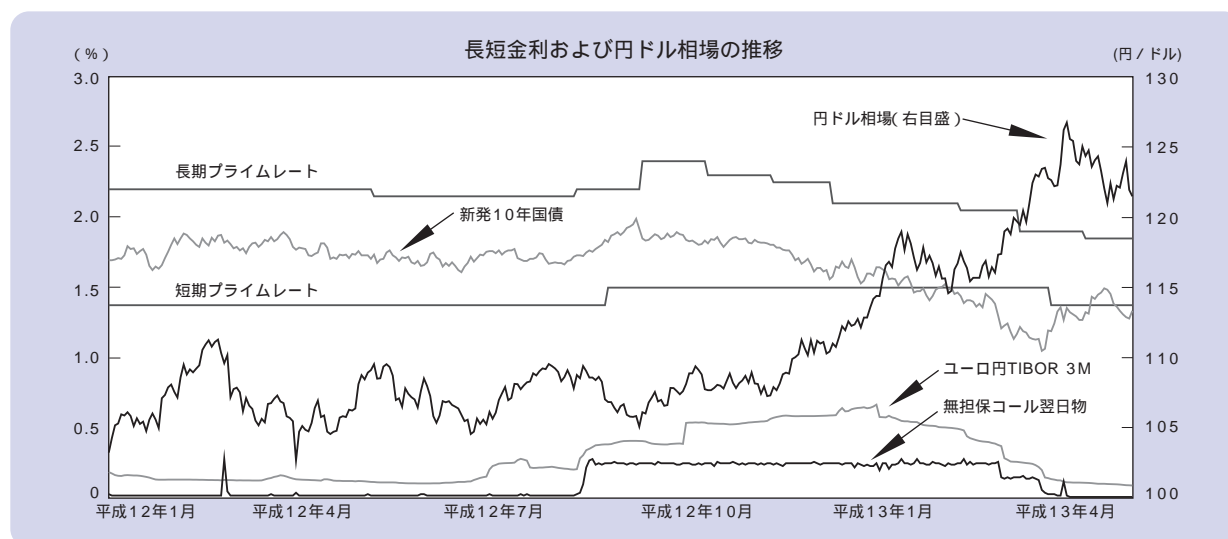
平成12年度の海外経済情勢を顧みますと、米国では、平成12年後半以降、長期にわたり拡大を続けてきた景気の減速が顕著となりました。アジアでも、一部の国でその影響を受け景気の下振れ懸念が強まりましたが、欧州諸国は、総じて回復基調を維持しました。次にわが国経済を顧みますと、企業収益の改善を背景に設備投資が増加し景気を下支えしたものの、厳しい所得環境を背景に個人消費が一進一退を続けたことから、本格的な自律回復までには至りませんでした。また、秋口まで順調に拡大を続けた輸出が、冬場以降、米国景気の減速を受けて増加幅を縮小させ、それに伴って生産活動の回復テンポも鈍化しました。

このような経済環境のもと、日本銀行は平成12年8月にゼロ金利政策を解除しましたが、平成13年2月以降、金融の量的緩和政策を実施するに至っております。また、平成13年3月には長引く需要低迷のなかで、政府は公式に経済が緩やかなデフレにあるとの認識を示し、同年4月には、構造改革推進のための諸施策を含む緊急経済対策を決定しました。

#### 金融情勢

平成12年度の金融市場を見ますと、為替市場では、ドル円相場は冬場以降円安が進み、年度末にかけては120円台で推移しました。長期国債利回りは、日本銀行のゼロ金利政策解除を受け、秋口にかけて2%台まで上昇しましたが、その後の景況感の悪化を背景に1%台前半まで低下しました。また株価は、米国株価と歩調を合わせる展開となり、下落基調で推移しました。

金融界を見ますと、金融ビッグバンが着実に進展するとともに、金融行政の一元化が図られる等の動きがありました。また、商法および関連税制等の整備を受けて、金融機関の統合や提携等、本格的な金融再編が進展するとともに、異業種からの金融業への参入が行われる等、金融機関の競争が一段と活発化しました。



## 日本興業銀行の平成12年度決算の状況

### 連結決算の状況

#### 1. 連結及び持分法適用の範囲

当年度の連結子会社は53社、持分法適用の関連会社は21社となりました。主な連結子会社はThe Industrial Bank of Japan Trust Company、IBJ Whitehall

Bank & Trust Company、Aubrey G. Lanston & Co. Inc.、Mizuho International plc等、主な持分法適用の関連会社は新光証券株式会社、みずほ証券株式会社等です。

#### 連結及び持分法適用の範囲

|            | 平成11年度 | 平成12年度 | 増 減 |
|------------|--------|--------|-----|
| 連結子会社      | 63社    | 53社    | 10社 |
| 持分法適用の関連会社 | 18社    | 21社    | 3社  |

#### 2. 損益の状況

##### 損益の状況(連結)

(単位:億円)

|               | 平成11年度 | 平成12年度 | 増 減   |
|---------------|--------|--------|-------|
| 連結粗利益         | 3,683  | 3,820  | 136   |
| 資金利益          | 2,471  | 1,973  | 497   |
| 役務取引等利益       | 731    | 812    | 81    |
| 特定取引利益        | 516    | 541    | 25    |
| その他業務利益       | 35     | 492    | 527   |
| 営業経費          | 1,922  | 1,859  | 62    |
| 与信関係費用        | 2,273  | 1,093  | 1,179 |
| 株式関係損益        | 2,116  | 693    | 1,422 |
| 持分法による投資損益    | 21     | 33     | 54    |
| その他           | 68     | 124    | 55    |
| 経常利益          | 1,555  | 1,402  | 153   |
| 特別損益          | 114    | 302    | 417   |
| 税金等調整前当期純利益   | 1,670  | 1,099  | 570   |
| 法人税、住民税及び事業税  | 455    | 37     | 417   |
| 法人税等調整額       | 379    | 316    | 63    |
| 少数株主利益        | 127    | 160    | 32    |
| 当期純利益         | 707    | 584    | 122   |
| 1株当たり当期純利益(円) | 25.59  | 20.34  | 5.25  |

注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 与信関係費用 = 不良債権処理損 + 一般貸倒引当金繰入額

# Financial Analysis of IBJ

## 日本興業銀行の業績と財務の状況

### (1) 連結粗利益

連結粗利益は、前年度比136億円増加し3,820億円となりました。

資金利益は、市場関連収益の減少等により前年度比497億円減少し1,973億円となりました。

役務取引等利益は、前年度比81億円増加し812億円となりました。

特定取引利益は、前年度比25億円増加し541億円となりました。

その他業務利益は、国債等債券損益の改善等により前年度比527億円増加し492億円となりました。

### (2) 営業経費

営業経費は、引き続き全般にわたるコスト削減努力をした結果、1,859億円となりました。

### (3) 与信関係費用

与信関係費用は、引き続き予防的な引当を行うとともに最終処理も促進しましたが、すでに十分な引当を行っていたこともあり、前年度比1,179億円減少し1,093億円となりました。

### (4) 株式関係損益

株式関係損益は、保有株式の売り切りを進めましたが、売却益・売却損・償却等の合計で前年度比1,422億円減少し693億円となりました。

### (5) 経常利益

以上の結果、連結粗利益に営業経費、与信関係費用、株式関係損益、持分法による投資損益等を加えまして、経常利益は1,402億円となりました。

### (6) 特別損益

特別損益は、外貨建有価証券の投資方針変更に伴う処分損227億円を計上したこと等により前年度比417億円減少し、302億円の損失となりました。

### (7) 当期純利益等

経常利益に特別損益を加えまして、税金等調整前当期純利益は1,099億円となりました。

税金等調整前当期純利益に法人税、住民税及び事業税37億円、法人税等調整額316億円、少数株主利益160億円を加味しまして、当期純利益は584億円となりました。

## 資金収支の状況(連結)

(単位:億円)

|                | 平均残高    |         |       | 利回り    |        |      |
|----------------|---------|---------|-------|--------|--------|------|
|                | 平成11年度  | 平成12年度  | 増減    | 平成11年度 | 平成12年度 | 増減   |
| 資金運用勘定         | 361,192 | 362,463 | 1,270 | 4.20   | 2.70   | 1.50 |
| うち貸出金          | 228,766 | 231,839 | 3,073 | 2.47   | 2.60   | 0.13 |
| うち有価証券         | 83,490  | 90,027  | 6,537 | 2.22   | 2.29   | 1.59 |
| うちコールローン及び買入手形 | 25,599  | 19,810  | 5,788 | 7.39   | 5.80   | 0.07 |
| うち預け金          | 6,173   | 6,998   | 825   | 4.32   | 4.40   | 0.08 |
| 資金調達勘定         | 346,077 | 345,486 | 591   | 3.65   | 2.25   | 1.40 |
| うち債券           | 203,898 | 200,958 | 2,940 | 1.41   | 1.18   | 0.23 |
| うち預金           | 54,480  | 58,220  | 3,739 | 2.40   | 3.14   | 0.74 |
| うち譲渡性預金        | 22,148  | 16,675  | 5,472 | 0.43   | 0.93   | 0.50 |
| うち借入金          | 12,193  | 9,058   | 3,135 | 2.77   | 3.19   | 0.42 |
| うちコマースペーパー     | 1,626   | 2,369   | 742   | 0.17   | 0.30   | 0.13 |
| うちコールマネー及び売渡手形 | 44,971  | 51,744  | 6,773 | 5.39   | 4.57   | 0.82 |

## 役務取引等利益の状況(連結)

(単位:億円)

|              | 平成11年度 | 平成12年度 | 増減 |
|--------------|--------|--------|----|
| 役務取引等収益      | 895    | 972    | 76 |
| うち債券・預金・貸出業務 | 331    | 418    | 87 |
| うち為替業務       | 52     | 54     | 2  |
| うち証券関連業務     | 237    | 188    | 48 |
| うち保証業務       | 54     | 63     | 9  |
| 役務取引等費用      | 164    | 160    | 4  |
| うち為替業務       | 20     | 23     | 2  |

## 3. 資産・負債等の状況

### 主な資産・負債等の状況(連結)

(単位:億円)

|          | 平成11年度  | 平成12年度  | 増減     |
|----------|---------|---------|--------|
| 資産の部     | 424,664 | 447,751 | 23,087 |
| うち貸出金    | 227,796 | 230,817 | 3,020  |
| うち有価証券   | 75,807  | 95,707  | 19,899 |
| うち特定取引資産 | 39,260  | 27,480  | 11,780 |
| うちその他資産  | 44,237  | 55,777  | 11,540 |
| うち繰延税金資産 | 3,669   | 3,294   | 374    |
| 負債の部     | 405,569 | 428,606 | 23,037 |
| うち債券     | 204,712 | 189,899 | 14,812 |
| うち預金     | 52,515  | 61,271  | 8,756  |
| うち譲渡性預金  | 13,849  | 26,557  | 12,707 |
| うち特定取引負債 | 13,611  | 14,222  | 611    |
| うちその他負債  | 57,793  | 58,220  | 426    |
| 少数株主持分   | 2,821   | 3,180   | 359    |
| 資本の部     | 16,274  | 15,964  | 309    |

#### (1) 資産の部

有価証券の年度末残高は9兆5,707億円となりました。なお、年度末時点における有価証券の含み損益は株式市場の低迷等により、578億円の含み損となっています。

貸出金の年度末残高は23兆817億円となりました。なお、貸出金のうちリスク管理債権は1兆2,961億円となり、貸出金に占める割合は5.6%となりました。

以上等から、資産の部合計は44兆7,751億円となりました。

#### (2) 負債の部・少数株主持分

預金・譲渡性預金は8兆7,828億円、債券は18兆9,899億円となり、負債の部合計は42兆8,606億円となりました。

少数株主持分は、3,180億円となりました。

#### (3) 資本の部

資本の部は、1兆5,964億円となりました。

なお、連結自己資本比率(国際統一基準)は11.61%となっています。

### 連結自己資本比率(国際統一基準)

(単位:億円)

|                  | 平成11年度  | 平成12年度  | 増減    |
|------------------|---------|---------|-------|
| 自己資本比率(%)        | 12.19   | 11.61   | 0.58  |
| Tier 比率(%)       | 6.61    | 6.45    | 0.16  |
| Tier             | 17,994  | 17,996  | 2     |
| Tier             | 15,180  | 14,673  | 507   |
| うち有価証券含み益の45%相当額 |         |         |       |
| うち再評価差額の45%相当額   | 732     | 665     | 67    |
| うち劣後ローン(債券)残高    | 13,062  | 12,642  | 420   |
| 控除項目             |         | 293     | 293   |
| 自己資本(+ - )       | 33,175  | 32,375  | 800   |
| リスクアセット          | 272,004 | 278,793 | 6,789 |

## 単体決算の状況

### 1. 損益の状況

#### 損益の状況

当年度の業務純益(一般貸倒引当金繰入前)は、前年度比116億円増加し1,858億円となりました。

一方で、不良債権処理については、財務体質の健全性の一層の向上・改善を引き続き図るため、当年度も予防的な引当の積み増しや最終処理を促進し、1,005億円(一般貸倒引当金繰入額を含む与信関係費用)を計上しましたが、前年度との比較では1,211億円減少しています。

その結果、当年度末の金融機能再生緊急措置法に基づく開示債権(取立不能見込額控除後)は前年度末比3,479億円減少して1兆3,086億円となり、保全率(引当金+担保保証等)は72.3%となっています。

以上により、経常利益は1,212億円、当期純利益は619億円となりました。

なお、投資方針の変更に伴い、外貨建有価証券の一部を処分し、特別損失として227億円を計上しています。

また、当年度より「金融商品に係る会計基準」、「退職給付に係る会計基準」を適用していますが、経常利益への影響額はそれぞれ3億円増、10億円増、税引前当期純利益への影響額はそれぞれ3億円増、34億円減となっています。

当年度末の単体自己資本比率(国際統一基準)については、前年度末に比べ0.35%低下の12.07%となっています。



## 損益の状況(単体)

(単位:億円)

|                  | 平成11年度 | 平成12年度 | 増減    |
|------------------|--------|--------|-------|
| 国内業務粗利益          | 2,364  | 2,104  | 259   |
| 国際業務粗利益          | 825    | 1,138  | 313   |
| 業務粗利益            | 3,189  | 3,243  | 53    |
| 資金利益             | 2,420  | 1,732  | 688   |
| 役務取引等利益          | 524    | 674    | 150   |
| 特定取引利益           | 179    | 412    | 233   |
| その他業務利益          | 64     | 423    | 358   |
| 国債等債券損益          | 32     | 306    | 338   |
| 経費(臨時的経費を除く)     | 1,393  | 1,385  | 7     |
| 債券費              | 54     |        | 54    |
| 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) | 1,741  | 1,858  | 116   |
| 除く国債等債券損益        | 1,773  | 1,551  | 222   |
| 一般貸倒引当金繰入額       | 471    | 65     | 406   |
| 業務純益             | 2,213  | 1,923  | 289   |
| 臨時損益             | 752    | 710    | 42    |
| うち株式等損益          | 2,059  | 527    | 1,531 |
| うち不良債権処理損        | 2,688  | 1,070  | 1,618 |
| 経常利益             | 1,388  | 1,212  | 175   |
| 特別損益             | 4      | 237    | 233   |
| 税引前当期純利益         | 1,384  | 974    | 409   |
| 法人税、住民税及び事業税     | 378    | 11     | 367   |
| 法人税等調整額          | 403    | 344    | 59    |
| 当期純利益            | 602    | 619    | 17    |

## 業務粗利益

業務粗利益は、前年度比53億円増加し3,243億円となりました。

## 業務粗利益の内訳(単体)

(単位:億円)

|                | 平成11年度 | 平成12年度 | 増減  |
|----------------|--------|--------|-----|
| 資金利益           | 2,420  | 1,732  | 688 |
| 国内業務部門         | 1,846  | 1,519  | 327 |
| 国際業務部門         | 574    | 213    | 361 |
| 役務取引等利益        | 524    | 674    | 150 |
| 国内業務部門         | 374    | 435    | 61  |
| 国際業務部門         | 150    | 239    | 89  |
| 特定取引利益         | 179    | 412    | 233 |
| 国内業務部門         | 190    | 159    | 30  |
| 国際業務部門         | 10     | 253    | 263 |
| その他業務利益        | 64     | 423    | 358 |
| 国内業務部門         | 46     | 9      | 36  |
| 国際業務部門         | 111    | 433    | 322 |
| 業務粗利益( + + + ) | 3,189  | 3,243  | 53  |

# Financial Analysis of IBJ

日本興業銀行の業績と財務の状況

## (1) 資金利益

資金利益については、前年度比688億円減少し1,732億円となりました。貸出を中心にスプレッドは引き続き拡大傾向にありますが、市場関連収益の減少により、国内業

務部門は前年度比327億円減少し1,519億円、国際業務部門も前年度比361億円減少し213億円となりました。

## 資金運用収支の内訳(単体)

(単位:億円)

|        | 平均残高     |         |         | 利回り    |        |      |
|--------|----------|---------|---------|--------|--------|------|
|        | 平成11年度   | 平成12年度  | 増減      | 平成11年度 | 平成12年度 | 増減   |
| 全店     |          |         |         |        |        |      |
| 資金運用勘定 | 340,881  | 347,399 | 6,518   | 3.91   | 2.51   | 1.40 |
| うち貸出金  | 223,750  | 226,094 | 2,343   | 2.37   | 2.45   | 0.08 |
| うち有価証券 | 84,517   | 90,951  | 6,434   | 2.13   | 2.22   | 0.09 |
| 資金調達勘定 | 325,079  | 329,256 | 4,177   | 3.35   | 2.12   | 1.23 |
| うち預金債券 | 273,475  | 266,142 | 7,332   | 1.48   | 1.50   | 0.02 |
| 国内業務部門 |          |         |         |        |        |      |
| 資金運用勘定 | (11,874) | (9,789) | (2,085) |        |        |      |
| うち貸出金  | 281,710  | 274,842 | 6,867   | 2.49   | 1.49   | 1.00 |
| うち有価証券 | 191,972  | 188,971 | 3,000   | 1.91   | 1.75   | 0.16 |
| うち有価証券 | 64,808   | 64,158  | 649     | 1.26   | 0.95   | 0.31 |
| 資金調達勘定 | 265,263  | 255,392 | 9,871   | 1.95   | 1.01   | 0.94 |
| うち預金債券 | 240,253  | 229,904 | 10,348  | 1.16   | 1.00   | 0.16 |
| 国際業務部門 |          |         |         |        |        |      |
| 資金運用勘定 | 71,045   | 82,346  | 11,300  | 9.07   | 5.80   | 3.27 |
| うち貸出金  | 31,778   | 37,122  | 5,344   | 5.11   | 6.05   | 0.94 |
| うち有価証券 | 19,709   | 26,793  | 7,083   | 4.98   | 5.25   | 0.27 |
| 資金調達勘定 | (11,874) | (9,789) | (2,085) |        |        |      |
| うち預金債券 | 71,690   | 83,653  | 11,962  | 8.18   | 5.45   | 2.73 |
| うち預金債券 | 33,221   | 36,237  | 3,016   | 3.79   | 4.66   | 0.87 |

注) 1. 預金債券には譲渡性預金を含んでいます。

2.( )内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高(内書き)です。

## (2) 役務取引等利益

役務取引等利益は、融資関係手数料やインベストメント・バンキング関連手数料等の増加で、前年度比150億円増加し674億円となりました。

### 役務取引等利益の状況(単体)

(単位:億円)

|              | 平成11年度 | 平成12年度 | 増減  |
|--------------|--------|--------|-----|
| 役務取引等収益      | 665    | 815    | 150 |
| うち債券・預金・貸出業務 | 315    | 393    | 78  |
| うち為替業務       | 48     | 51     | 2   |
| うち証券関連業務     | 157    | 155    | 2   |
| うち代理業務       | 12     | 10     | 1   |
| うち保護預り・貸金庫業務 | 2      | 2      | 0   |
| うち保証業務       | 52     | 63     | 10  |
| 役務取引等費用      | 140    | 140    | 0   |
| うち為替業務       | 20     | 23     | 2   |

## (3) 特定取引利益

特定取引利益(お取引先の多様なニーズに応えるための金利スワップ等のデリバティブ取引及び短期自己売買を目的としたトレーディング目的の取引)は、対顧セールスを

中心に、前年度比233億円増加し412億円と好調な仕上がりとなりました。

## (4) その他業務利益

その他業務損益は、下期の内外金利低下を背景とした国債等債券損益の改善等により、前年度比358億円増加し423億円となっています。

### その他業務利益の内訳(単体)

(単位:億円)

|           | 平成11年度 | 平成12年度 | 増減  |
|-----------|--------|--------|-----|
| 全店        | 64     | 423    | 358 |
| うち外国為替売買益 | 99     | 68     | 30  |
| うち国債等債券損益 | 32     | 306    | 338 |
| 国内業務部門    | 46     | 9      | 36  |
| うち国債等債券損益 | 55     | 84     | 28  |
| 国際業務部門    | 111    | 433    | 322 |
| うち外国為替売買益 | 99     | 68     | 30  |
| うち国債等債券損益 | 23     | 391    | 367 |

# Financial Analysis of IBJ

日本興業銀行の業績と財務の状況

## 経費

経費については、引き続き経営全般にわたる合理化・効率化を推進した結果、統合関連費用や円安等の増加要因を

上回る削減を達成し、人件費・物件費・税金合計で前年度比7億円減少し1,385億円となりました。

### 経費(除く臨時処理分)の内訳(単体)

(単位:億円)

|         | 平成11年度 | 平成12年度 | 増減 |
|---------|--------|--------|----|
| 人件費     | 606    | 616    | 10 |
| うち給与・報酬 | 314    | 300    | 14 |
| 物件費     | 730    | 718    | 12 |
| 税金      | 56     | 50     | 5  |
| 合計      | 1,393  | 1,385  | 7  |

## 業務純益

以上の結果、業務純益(一般貸倒引当金繰入前)は1,858億円となりました。

比153億円減少したものの、コーポレートバンキングユニット及びインベストメントバンキングユニットで前年度

ユニット別業務純益については、市場ユニットで前年度

比それぞれ174億円、56億円増加しています。

### ユニット別業務純益(一般貸倒引当金繰入前)(単体)

(単位:億円)

|                   | 平成11年度 | 平成12年度 | 増減  |
|-------------------|--------|--------|-----|
| コーポレートバンキングユニット   | 1,579  | 1,753  | 174 |
| 市場ユニット            | 340    | 187    | 153 |
| インベストメントバンキングユニット | 43     | 99     | 56  |
| 証券・資産運用管理ユニット     | 33     | 24     | 9   |

## 臨時損益・経常利益・当期純利益

### (1) 株式等損益

当年度も、引き続き保有株式の売り切りを進め、1,084億円の株式等売却損益を計上し、売却益・売却損・償却等の合計は527億円となりました。

### (2) 不良債権処理損

当年度についても、第一勧業銀行及び富士銀行との間で制定した3行統一の保守的・合理的な「自己査定基準」及び

「償却・引当基準」に従い、引き続き予防的な引当処理を行うとともに、最終処理も促進しましたが、前年度までに十分な処理を行ってきたこともあり、不良債権処理額は前年度比1,211億円減少の1,005億円(一般貸倒引当金純繰入額を含む与信関係費用)と、減少しました。

このうち最終処理に係る損失は567億円で、うち貸出金償却が464億円となっています。

## 臨時損益の内訳(単体)

(単位:億円)

|                | 平成11年度 | 平成12年度 | 増減    |
|----------------|--------|--------|-------|
| 株式等損益          | 2,059  | 527    | 1,531 |
| 株式等売却益         | 2,748  | 1,321  | 1,426 |
| 株式等売却損         | 315    | 259    | 56    |
| 株式等償却          | 374    | 557    | 183   |
| 投資損失引当金純繰入額    |        |        |       |
| 金融派生商品損益(株式関連) |        | 21     | 21    |
| 不良債権処理額        | 2,688  | 1,070  | 1,618 |
| 貸出金償却          | 113    | 464    | 351   |
| 個別貸倒引当金純繰入額    | 2,195  | 50     | 2,145 |
| 共同債権買取機構向け売却損  |        |        |       |
| 債権売却損失引当金純繰入額  | 48     | 49     | 0     |
| 特定債務者支援引当金純繰入額 | 188    | 426    | 237   |
| 特定海外債権引当勘定純繰入額 | 7      | 22     | 15    |
| その他の債権売却損等     | 149    | 102    | 46    |
| その他            | 123    | 167    | 43    |
| 臨時損益計          | 752    | 710    | 42    |

### (3) 経常利益

以上の結果、経常利益は前年度比175億円減益の1,212億円となりました。

### (4) 特別損益

前述の通り、投資方針の変更に伴い、外貨建有価証券の一部を処分し、特別損失として227億円を計上したほか、退職給付費用の特別損益処理分をネットで44億円計上したこと等により、前年度比233億円減少し237億円の損失となりました。

### (5) 法人税等

当年度の法人税、住民税及び事業税は11億円、法人税等調整額は344億円となりました。なお、大阪府の外形標準課税導入による影響は46億円となっています。

### (6) 当期純利益

以上の結果、当期純利益は前年度比17億円増益の619億円となりました。

### 2. 資産・負債等の状況

#### 主な資産・負債等の状況(単体)

(単位:億円)

|          | 平成11年度  | 平成12年度  | 増減     |
|----------|---------|---------|--------|
| 資産の部     | 380,506 | 437,156 | 56,650 |
| うち貸出金    | 222,324 | 224,800 | 2,475  |
| うち有価証券   | 77,038  | 96,324  | 19,285 |
| うち特定取引資産 | 21,636  | 23,639  | 2,003  |
| うちその他資産  | 30,907  | 55,377  | 24,470 |
| うち繰延税金資産 | 3,639   | 3,238   | 400    |
| 負債の部     | 363,831 | 420,202 | 56,370 |
| うち債券     | 199,338 | 183,958 | 15,380 |
| うち預金     | 50,264  | 57,894  | 7,629  |
| うち譲渡性預金  | 12,730  | 25,195  | 12,465 |
| うち特定取引負債 | 9,086   | 13,037  | 3,950  |
| うちその他負債  | 35,617  | 57,924  | 22,306 |
| 資本の部     | 16,674  | 16,954  | 280    |

#### (1) 資産の部

当年度末の資産の部合計は、前年度末比5兆6,650億円増加し43兆7,156億円となりました。

資産の部合計の過半を占める貸出金は、前年度末比2,475億円増加し22兆4,800億円となりました。なお、当行は当年度より取立不能見込額につき部分直接償却を実施していますが、実施前の貸出金の当年度末残高は22兆9,456億円で前年度末比7,131億円増加しています。

また、貸出金のうちリスク管理債権は1兆2,811億円となり、貸出金に占める割合は5.7%となりました。

有価証券については、前年度末比1兆9,285億円増加し9兆6,324億円となりました。

#### (2) 負債の部

当年度末の負債の部合計は、コールマネー、レボ取引関連等の市場性資金調達の増加を主因として、前年度末比5兆6,370億円増加し42兆202億円となりました。

債券については、前年度末比1兆5,380億円減少し18兆3,958億円となりました。残高の内訳は、利付債券13兆65億円、割引債券5兆3,892億円です。

預金については、譲渡性預金を含め、前年度末比2兆94億円増加し8兆3,089億円となりました。

#### (3) 資本の部

当年度末の資本の部は、前年度末比280億円増加し1兆6,954億円となりました。

## 資産内容の開示について

### 自己査定と償却・引当

「自己査定」とは、銀行が自己責任により資産内容の実態を反映した財務諸表を作成するために、企業会計原則等に基づいた適正な償却や引当の準備作業として資産の実態把握を行うものです。

自己査定にあたっては、まず、お取引先の財務・経営状況に応じて以下の5つの債務者区分に分別します。

**破綻先:**法的・形式的な経営破綻の事実の発生している先

**実質破綻先:**法的・形式的な経営破綻の事実は発生していないものの、深刻な経営難の状態にあり、再建の見通しが無い状況にあると認められるなど実質的に経営破綻に陥っている先

**破綻懸念先:**現状、経営破綻の状況にはないが、経営難の状態にあり、経営改善計画等の進捗状況が芳しくなく、今後、経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる先(金融機関等の支援継続中の債務者を含む)

**要注意先:**金利減免・棚上げを行っているなど貸出条件に問題のある先、元本返済若しくは利息支払が事実上延滞しているなど履行状況に問題がある先の他、業況が低調ないしは不安定な先又は財務内容に問題がある先など、今後の管理に注意を要する先

**正常先:**業況が良好であり、かつ、財務内容にも特段の問題がないと認められる先

次に、債務者区分ごとに担保・保証等による債権回収の可能性を評価して、資産を回収リスクの低いほうから順に(非)、  
、  
、  
の4段階に分類します。

「償却・引当」は、自己査定結果にもとづく債務者区分と分類区分をベースに実施されます。平成13年3月末においては次ページのような結果となっています。

### リスク管理債権

リスク管理債権とは、銀行法にもとづき開示しているもので、「破綻先債権」、「延滞債権」、「3カ月以上延滞債権」、「貸出条件緩和債権」の総称です。

これらは自己査定の債務者区分をベースにしており、自己査定における「破綻先」に対する貸出金を「破綻先債権」、「実質破綻先」と「破綻懸念先」に対する貸出金を「延滞債権」、「要注意先」に対する貸出金のうち一定の要件に該当する貸出金を「3カ月以上延滞債権」、「貸出条件緩和債権」として開示しています。

平成13年3月末における当行の連結ベースでのリスク管理債権の合計額は、1兆2,961億円となりました。また、同じく単体ベースでのリスク管理債権の合計額は、1兆2,811億円となり、前年に比べ3,621億円減少しました。

### 金融再生法開示債権

金融再生法開示債権とは、金融再生法施行規則に基づき、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」に区分して開示しているものです(本来は別途「正常債権」もあります)。

これらについても自己査定の債務者区分をベースにしており、自己査定の「破綻先」と「実質破綻先」を「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「破綻懸念先」を「危険債権」、要注意先のうち「3カ月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」を「要管理債権」として開示しています。

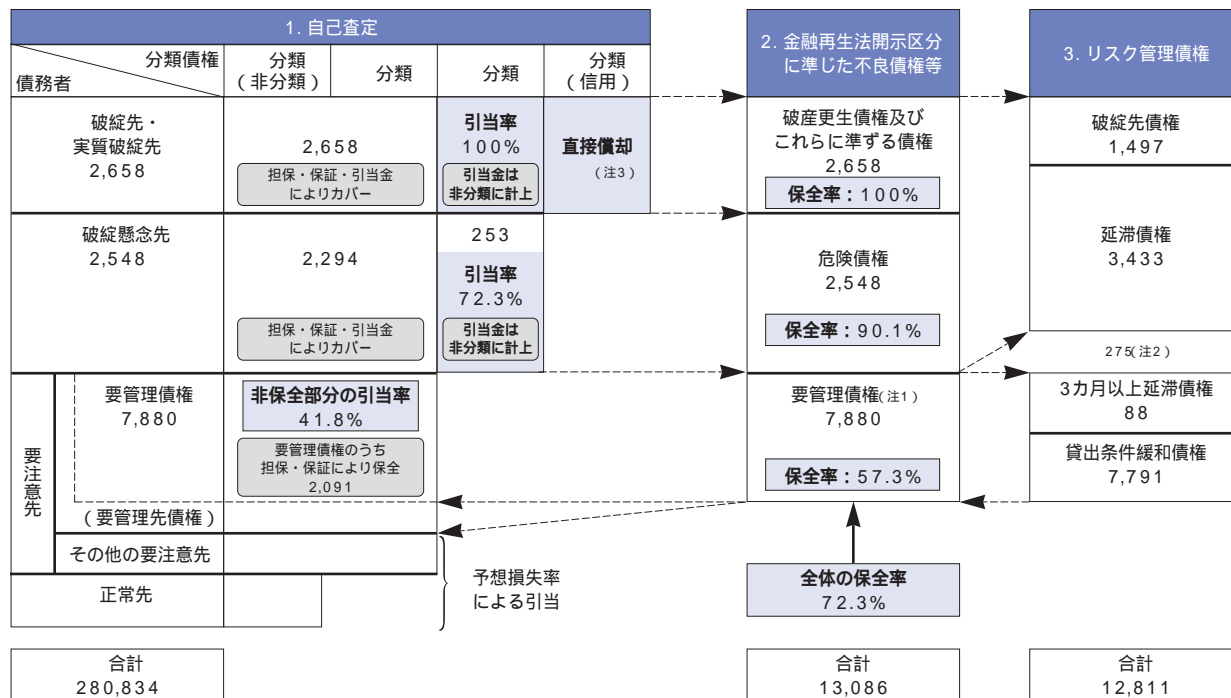
平成13年3月末の当行単体ベースの金融再生法開示債権の残高は、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」2,658億円、「危険債権」2,548億円、「要管理債権」7,880億円であり、合計で1兆3,086億円となり、前年に比べ3,479億円減少しました。

リスク管理債権の合計額と金融再生法開示債権の合計額との差額275億円は、金融再生法開示債権に含まれる貸出金以外の債権額です。

上記の各債権に対する引当、担保・保証等による実質的な保全率は、平成13年3月末で「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」100%、「危険債権」90.1%、「要管理債権」57.3%であり、全体でも72.3%と十分な水準にあります。

### 開示債権と引当・保全の状況(単体)

(単位:億円)



注) 1. 「要管理債権」は、個別貸出金ベースで、リスク管理債権における3か月以上延滞債権と貸出条件緩和債権に合致します。

「要管理先債権」は、当該債務者に対する総与信ベースの金額です。

2. リスク管理債権の合計額と金融再生法開示区分に準じた不良債権等の合計額の差額は、金融再生法開示区分に準じた不良債権等に含まれる貸出金以外の債権額です。

3. 支払承諾見返は、引当処理(100%)です。



## リスク管理債権の状況(連結)

### リスク管理債権(部分直接償却実施後)

(単位:億円)

|           | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 破綻先債権     | 468    | 468    | 1,555  |
| 延滞債権      | 11,609 | 7,403  | 3,511  |
| 3カ月以上延滞債権 | 89     | 106    | 93     |
| 貸出条件緩和債権  | 5,546  | 8,542  | 7,802  |
| 合計        | 17,714 | 16,519 | 12,961 |

注) (単位:億円)

|           | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 部分直接償却実施額 | 2,472  | 3,602  | 4,672  |

### 貸出金残高(末残)に対する比率(部分直接償却実施後)

(単位:%)

|                       | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|-----------------------|--------|--------|--------|
| 破綻先債権                 | 0.2    | 0.2    | 0.7    |
| 延滞債権                  | 5.0    | 3.3    | 1.5    |
| 3カ月以上延滞債権             | 0.0    | 0.0    | 0.0    |
| 貸出条件緩和債権              | 2.4    | 3.8    | 3.4    |
| リスク管理債権合計 / 貸出金残高(末残) | 7.6    | 7.4    | 5.6    |

### 貸倒引当金等の状況

(単位:億円)

|                  | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|------------------|--------|--------|--------|
| 貸倒引当金(部分直接償却実施後) | 8,195  | 5,598  | 2,809  |
| 一般貸倒引当金          | 1,891  | 1,385  | 1,365  |
| 個別貸倒引当金          | 6,227  | 4,151  | 1,394  |
| 特定海外債権引当勘定       | 75     | 61     | 48     |
| 特定債務者支援引当金       |        | 1,671  | 1,407  |
| 債権売却損失引当金        | 481    | 475    | 194    |

注) (単位:億円)

|                    | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|--------------------|--------|--------|--------|
| 部分直接償却実施額(個別貸倒引当金) | 2,472  | 3,602  | 4,777  |

### リスク管理債権に対する引当率

(単位:%)

|           | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 部分直接償却実施前 | 52.8   | 54.0   | 51.0   |
| 部分直接償却実施後 | 46.3   | 44.0   | 32.5   |

注) 引当率=(貸倒引当金+特定債務者支援引当金)/リスク管理債権合計

### リスク管理債権の状況(単体)

#### リスク管理債権(部分直接償却実施後)

(単位:億円)

|           | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 破綻先債権     | 452    | 461    | 1,497  |
| 延滞債権      | 12,360 | 7,370  | 3,433  |
| 3カ月以上延滞債権 | 84     | 99     | 88     |
| 貸出条件緩和債権  | 5,544  | 8,502  | 7,791  |
| 合計        | 18,441 | 16,432 | 12,811 |

注) (単位:億円)

|           | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 部分直接償却実施額 | 2,472  | 3,552  | 4,656  |

#### 貸出金残高(未残)に対する比率(部分直接償却実施後)

(単位:%)

|                       | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|-----------------------|--------|--------|--------|
| 破綻先債権                 | 0.2    | 0.2    | 0.7    |
| 延滞債権                  | 5.4    | 3.4    | 1.5    |
| 3カ月以上延滞債権             | 0.0    | 0.0    | 0.0    |
| 貸出条件緩和債権              | 2.4    | 3.9    | 3.5    |
| リスク管理債権合計 / 貸出金残高(未残) | 8.1    | 7.5    | 5.7    |

### 貸倒引当金等の状況

(単位:億円)

|                   | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|-------------------|--------|--------|--------|
| 貸倒引当金(部分直接償却実施後)  | 8,438  | 5,375  | 2,635  |
| 一般貸倒引当金           | 1,728  | 1,256  | 1,191  |
| 個別貸倒引当金           | 6,634  | 4,058  | 1,395  |
| 特定海外債権引当勘定        | 75     | 61     | 48     |
| 特定債務者支援引当金        |        | 1,671  | 1,410  |
| 債権売却損失引当金         | 481    | 475    | 194    |
| CCPC向けバックファイナンス残高 | 608    | 527    | 199    |

注) 1. (単位:億円)

|                    | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|--------------------|--------|--------|--------|
| 部分直接償却実施額(個別貸倒引当金) | 2,724  | 3,635  | 4,760  |

2. CCPC:株式会社共同債権買取機構

### リスク管理債権に対する引当率

(単位:%)

|           | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 部分直接償却実施前 | 53.4   | 53.5   | 50.4   |
| 部分直接償却実施後 | 45.8   | 42.9   | 31.6   |

注) 引当率=(貸倒引当金+特定債務者支援引当金)/リスク管理債権合計

## 金融再生法開示債権の状況(単体)

## 金融再生法開示債権(部分直接償却実施後)

(単位:億円)

|                   | 平成10年度  | 平成11年度  | 平成12年度  |
|-------------------|---------|---------|---------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 1,116   | 1,664   | 2,658   |
| 危険債権              | 11,977  | 6,300   | 2,548   |
| 要管理債権             | 5,629   | 8,601   | 7,880   |
| 小計                | 18,723  | 16,566  | 13,086  |
| 正常債権              | 254,375 | 235,407 | 267,748 |
| 合計                | 273,098 | 251,973 | 280,834 |
| 注)                |         |         | (単位:億円) |
|                   | 平成10年度  | 平成11年度  | 平成12年度  |
| 部分直接償却実施額         | 2,724   | 3,635   | 4,760   |

## 保全状況

(単位:億円)

|                        | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 |
|------------------------|--------|--------|--------|
| 保全額                    | 14,122 | 12,650 | 9,465  |
| 貸倒引当金                  | 7,114  | 4,195  | 1,755  |
| 特定債務者支援引当金             |        | 1,671  | 1,407  |
| 担保・保証等                 | 7,008  | 6,783  | 6,303  |
| 保全率(部分直接償却実施後)         | 75.4%  | 76.4%  | 72.3%  |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権      | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 危険債権                   | 83.8%  | 95.2%  | 90.1%  |
| 要管理債権                  | 52.7%  | 58.0%  | 57.3%  |
| 保全率(部分直接償却実施前)         | 78.5%  | 80.6%  | 79.7%  |
| 信用部分に対する引当率(部分直接償却実施後) | 60.7%  | 60.0%  | 46.6%  |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権      | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 危険債権                   | 77.1%  | 91.3%  | 72.3%  |
| 要管理債権                  | 15.0%  | 42.2%  | 41.8%  |
| 信用部分に対する引当率(部分直接償却実施前) | 68.1%  | 70.8%  | 68.6%  |
| その他の債権(保全部分を含む)に対する引当率 |        |        |        |
| 要管理先債権以外の要注意先債権        | 3.98%  | 4.56%  | 4.22%  |
| 正常先債権                  | 0.08%  | 0.11%  | 0.06%  |

注) 1. 保全率 = 保全額 / 債権額

2. 信用部分に対する引当率 = (貸倒引当金 + 特定債務者支援引当金) / 債権額のうち信用部分

3. その他の債権(保全部分を含む)に対する引当率 = 一般貸倒引当金 / 債権額

## 業種別リスク管理債権・業種別金融再生法開示区分に準じた不良債権等(単体)

業種別リスク管理債権・業種別金融再生法開示区分に準じた不良債権等(部分直接償却実施後)

(単位:億円)

|                      | 平成11年度  |                    | 平成12年度  |                    |
|----------------------|---------|--------------------|---------|--------------------|
|                      | リスク管理債権 | 金融再生法開示区分に準じた不良債権等 | リスク管理債権 | 金融再生法開示区分に準じた不良債権等 |
| 国内店分合計(除く特別国際金融取引勘定) | 15,760  | 15,868             | 12,314  | 12,583             |
| 製造業                  | 502     | 506                | 591     | 591                |
| 農業                   | —       | —                  | —       | —                  |
| 林業                   | —       | —                  | 1       | 1                  |
| 漁業                   | —       | —                  | —       | —                  |
| 鉱業                   | —       | 26                 | —       | —                  |
| 建設業                  | 1,911   | 1,911              | 1,829   | 1,829              |
| 電気・ガス・熱供給・水道業        | 39      | 39                 | 21      | 21                 |
| 運輸・通信業               | 302     | 302                | 207     | 207                |
| 卸売・小売業、飲食店           | 2,715   | 2,733              | 1,407   | 1,416              |
| 金融・保険業               | 1,755   | 1,760              | 928     | 1,051              |
| 不動産業                 | 5,573   | 5,576              | 4,986   | 4,987              |
| サービス業                | 2,887   | 2,938              | 2,058   | 2,193              |
| 地方公共団体               | —       | —                  | —       | —                  |
| その他                  | 71      | 71                 | 284     | 284                |
| 海外店分及び特別国際金融取引勘定     | 671     | 698                | 496     | 503                |
| 政府等                  | 60      | 60                 | 89      | 89                 |
| 金融機関                 | 6       | 6                  | 28      | 28                 |
| その他                  | 605     | 631                | 377     | 384                |
| 合計                   | 16,432  | 16,566             | 12,811  | 13,086             |

注)

(単位:億円)

|           | 平成11年度  |                    | 平成12年度  |                    |
|-----------|---------|--------------------|---------|--------------------|
|           | リスク管理債権 | 金融再生法開示区分に準じた不良債権等 | リスク管理債権 | 金融再生法開示区分に準じた不良債権等 |
| 部分直接償却実施額 | 3,552   | 3,635              | 4,656   | 4,760              |

## 不良債権のオフバランス化の実績(単体)

## 平成12年度上期以前分(既存分)

## 破綻懸念先以下(金融再生法基準)の債権残高

(単位:億円)

|                   | 平成12年度<br>上期末 | 平成12年度<br>下期末 | 増減    |
|-------------------|---------------|---------------|-------|
|                   |               |               |       |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 3,372         | 2,368         | 1,003 |
| 危険債権              | 2,686         | 1,805         | 880   |
| 合計                | 6,058         | 4,174         | 1,884 |

(A)

(B)

## オフバランス化の実績

(単位:億円)

|       | 平成12年度下期 |
|-------|----------|
| 清算型処理 | 850      |
| 再建型処理 | 89       |
| 債権流動化 | 587      |
| 直接償却  | 700      |
| その他   | 1,056    |
| 合計    | 1,884    |

(B)

注)「その他」欄は、回収、債務者の業況改善など。

## 平成12年度下期分(新規分)

(単位:億円)

|                   | 平成12年度下期 |
|-------------------|----------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 289      |
| 危険債権              | 742      |
| 合計                | 1,032    |

(C)

注)平成12年度下期に新規に破綻懸念先以下となった債権額。

## 平成12年度下期末の破綻懸念先以下の債権残高

(単位:億円)

|                   | 平成12年度下期末 |
|-------------------|-----------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 2,658     |
| 危険債権              | 2,548     |
| 合計                | 5,206     |

(A)+(C)